

宮城県大河原産業高等学校 [全日制課程 (農業科学科 (食農科学科))]

☆ スクール・ミッション (社会的役割等)

宮城県大河原産業高等学校は、「自立貢献」を校訓とし、社会の様々な変化に適切に対応する柔軟性と、他者を敬愛し、他者との協働を通して新たな価値を生み出す創造性を育みます。また、地域や他学科との連携・協働による取組や実習、フィールドワークを中心とした実践的な取組を通して、地域の良さを理解し、地域社会を支え地域に貢献する有為な人材を育成する学校を目指します。

★ スクール・ポリシー (三つの方針)

1 グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)

- (1) 基礎学力 (社会人として必要とされる基礎的な学力)
- (2) 学び続ける力 (常に学んでいこうとする力)
- (3) 自分や周囲の人々を肯定する力 (ありのままの自分をかけがえのない存在として認める力, 周囲の人々の良いところを見つけ, その存在を認める力)
- (4) 考え抜く力 (様々な課題に対して主体的に粘り強く考える力)
- (5) 協働する力 (他者を尊重しながら協働して物事に取り組む力)
- (6) 社会で通用する実践力 (野菜や果樹に関する基礎・基本や技術を確実に身に付け, 将来, 各専門分野の学びを地域や社会で活用することのできる力)

2 カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)

- (1) 基礎学力の着実な定着を目指し, 各科目においてきめ細やかな指導を行います。
- (2) 野菜や果樹の栽培と活用などの専門的な学びを基礎から発展まで十分に深めることができるような科目を設定, 配置するとともに, 主体的な学びにつながるような授業を展開します。
- (3) 地域や社会貢献の実現に向けた, 多様な希望進路へ対応できる教科・科目を設定します。
- (4) 他分野の科目が履修できるよう, 総合選択科目を設定します。
- (5) 総合的な探究の時間を柱とした学科間での連携や地域との協働を通じて, 地域の新たな価値の創造につながる, 開かれた教育課程の実現を目指します。
- (6) 各科目及び各種教育活動において地域の教育資源等を積極的に活用します。

3 アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)

- (1) 専門分野における教育に強い興味と関心を持ち, 意欲的に学習に取り組む生徒
- (2) 野菜や果樹の栽培と活用に関する学習に意義と価値を見だし, 将来各専門分野で地域や社会に貢献しようとする意欲のある生徒
- (3) 仲間と協働して新しい学校づくりに主体的に取り組む意欲のある生徒
- (4) 基本的な生活習慣が身に付いており, 本校における様々な活動に積極的に取り組む生徒
- (5) 中学校における学習, 部活動, 生徒会活動, 校外活動などに積極的に取り組み努力してきた生徒

宮城県大河原産業高等学校 [全日制課程 (農業科学科 (環境科学科))]

★ スクール・ミッション (社会的役割等)

宮城県大河原産業高等学校は、「自立貢献」を校訓とし、社会の様々な変化に適切に対応する柔軟性と、他者を敬愛し、他者との協働を通して新たな価値を生み出す創造性を育みます。また、地域や他学科との連携・協働による取組や実習、フィールドワークを中心とした実践的な取組を通して、地域の良さを理解し、地域社会を支え地域に貢献する有為な人材を育成する学校を目指します。

★ スクール・ポリシー (三つの方針)

1 グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)

- (1) 基礎学力 (社会人として必要とされる基礎的な学力)
- (2) 学び続ける力 (常に学んでいこうとする力)
- (3) 自分や周囲の人々を肯定する力 (ありのままの自分をかけがえのない存在として認める力, 周囲の人々の良いところを見つけ, その存在を認める力)
- (4) 考え抜く力 (様々な課題に対して主体的に粘り強く考える力)
- (5) 協働する力 (他者を尊重しながら協働して物事に取り組む力)
- (6) 社会で通用する実践力 (草花やきのこの栽培及び林業や造園などに関する基礎・基本や技術を確実に身に付け, 将来, 各専門分野の学びを地域や社会で活用することのできる力)

2 カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)

- (1) 基礎学力の着実な定着を目指し, 各科目においてきめ細やかな指導を行います。
- (2) 草花やきのこの栽培, 林業, 造園に関する知識や技術などの専門的な学びを基礎から発展まで十分に深めることができるような科目を設定, 配置するとともに, 主体的な学びにつながるような授業を展開します。
- (3) 地域や社会貢献の実現に向けた, 多様な希望進路へ対応できる教科・科目を設定します。
- (4) 他分野の科目が履修できるよう, 総合選択科目を設定します。
- (5) 総合的な探究の時間を柱とした学科間での連携や地域との協働を通じて, 地域の新たな価値の創造につながる, 開かれた教育課程の実現を目指します。
- (6) 各科目及び各種教育活動において地域の教育資源等を積極的に活用します。

3 アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)

- (1) 専門分野における教育に強い興味と関心を持ち, 意欲的に学習に取り組む生徒
- (2) 森林生態系や林業, 草花の栽培と活用や造園に関する学習に意義と価値を見だし, 将来各専門分野で地域や社会に貢献しようとする意欲のある生徒
- (3) 仲間と協働して新しい学校づくりに主体的に取り組む意欲のある生徒
- (4) 基本的な生活習慣が身に付いており, 本校における様々な活動に積極的に取り組む生徒
- (5) 中学校における学習, 部活動, 生徒会活動, 校外活動などに積極的に取り組み努力してきた生徒

学校名	宮城県大河原産業高等学校	課程	全日制
学科 (コース・部)	農業科学科	募集定員	80人

第一次募集（選抜方法等）	選抜順序	共通選抜 → 特色選抜		
	第2志望とすることができる学科・コース	企画デザイン科、総合ビジネス科		
	共通選抜			
	募集人数	48人（募集定員の 60 %）		
	学力検査:調査書	5 : 5		
	学力検査点（500点満点）と調査書点（195点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は5 : 5とする。			
	特色選抜			
	募集人数	32人（募集定員の 40 %）		
	配点	1 調査書	390点	合計 890点
		2 学力検査	500点	
選抜方法		<ul style="list-style-type: none"> ・ 審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する32人の120%の範囲に含まれる者（38人）を対象として行う。 ・ 学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。 		
面接・実技・作文のうち実施するもの	なし			

社会人特別選抜	無
----------------	---

第二次募集（選抜方法等）	配点	1 調査書	225点	合計 525点
		2 学力検査	300点	
	選抜方法		上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

宮城県大河原産業高等学校 [全日制課程 (企画デザイン科)]

★ スクール・ミッション (社会的役割等)

宮城県大河原産業高等学校は、「自立貢献」を校訓とし、社会の様々な変化に適切に対応する柔軟性と、他者を敬愛し、他者との協働を通して新たな価値を生み出す創造性を育みます。また、地域や他学科との連携・協働による取組や実習、フィールドワークを中心とした実践的な取組を通して、地域の良さを理解し、地域社会を支え地域に貢献する有為な人材を育成する学校を目指します。

★ スクール・ポリシー (三つの方針)

1 グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)

- (1) 基礎学力 (社会人として必要とされる基礎的な学力)
- (2) 学び続ける力 (常に学んでいこうとする力)
- (3) 自分や周囲の人々を肯定する力 (ありのままの自分をかけがえのない存在として認める力, 周囲の人々の良いところを見つけ, その存在を認める力)
- (4) 考え抜く力 (様々な課題に対して主体的に粘り強く考える力)
- (5) 協働する力 (他者を尊重しながら協働して物事に取り組む力)
- (6) 社会で通用する実践力 (デザインに関する基礎・基本や技術を確実に身に付け, 将来, 地域を商業の視点でデザインし, 地域に貢献することのできる力)

2 カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)

- (1) 基礎学力の着実な定着を目指し, 各科目においてきめ細やかな指導を行います。
- (2) CGデザインやブランディングなどの専門的な学びを基礎から発展まで十分に深めることができるような科目を設定, 配置するとともに, 主体的な学びにつながるような授業を展開します。
- (3) 地域や社会貢献の実現に向けた, 多様な希望進路へ対応できる教科・科目を設定します。
- (4) 他分野の科目が履修できるよう, 総合選択科目を設定します。
- (5) 総合的な探究の時間を柱とした学科間での連携や地域との協働を通じて, 地域の新たな価値の創造につながる, 開かれた教育課程の実現を目指します。
- (6) 各科目及び各種教育活動において地域の教育資源等を積極的に活用します。

3 アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)

- (1) 専門分野における教育に強い興味と関心を持ち, 意欲的に学習に取り組む生徒
- (2) よりよい地域の実現に向けた商品開発やイベント企画などに興味があり, 将来, 地域や社会に貢献しようとする意欲のある生徒
- (3) 仲間と協働して新しい学校づくりに主体的に取り組む意欲のある生徒
- (4) 基本的な生活習慣が身に付いており, 本校における様々な活動に積極的に取り組む生徒
- (5) 中学校における学習, 部活動, 生徒会活動, 校外活動などに積極的に取り組み努力してきた生徒

学校名	宮城県大河原産業高等学校	課程	全日制
学科 (コース・部)	企画デザイン科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）	選抜順序	共通選抜 → 特色選抜	
	第2志望とすることができる学科・コース	農業科学科、総合ビジネス科	
	共通選抜		
	募集人数	24人（募集定員の 60 %）	
	学力検査:調査書	5 : 5	
	学力検査点（500点満点）と調査書点（195点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は5 : 5とする。		
	特色選抜		
	募集人数	16人（募集定員の 40 %）	
	配点	1 調査書 390点 国語、数学、社会、英語、理科 : 全学年の評定を2.0倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を4.0倍にする	合計
		2 学力検査 500点 国語、数学、社会、英語、理科 : 得点を1.0倍にする	890点
選抜方法	<ul style="list-style-type: none"> 審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する16人の120%の範囲に含まれる者（19人）を対象として行う。 学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。 		
面接・実技・作文のうち実施するもの	なし		

社会人特別選抜	無
----------------	---

第二次募集（選抜方法等）	配点	1 調査書 225点 国語、数学、英語 : 全学年の評定を1.0倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を2.0倍にする	合計
		2 学力検査 300点 国語、数学、英語 : 各教科100点満点	525点
	選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

宮城県大河原産業高等学校 [全日制課程 (総合ビジネス科 (流通ビジネス科))]

★ スクール・ミッション (社会的役割等)

宮城県大河原産業高等学校は、「自立貢献」を校訓とし、社会の様々な変化に適切に対応する柔軟性と、他者を敬愛し、他者との協働を通して新たな価値を生み出す創造性を育みます。また、地域や他学科との連携・協働による取組や実習、フィールドワークを中心とした実践的な取組を通して、地域の良さを理解し、地域社会を支え地域に貢献する有為な人材を育成する学校を目指します。

★ スクール・ポリシー (三つの方針)

1 グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)

- (1) 基礎学力 (社会人として必要とされる基礎的な学力)
- (2) 学び続ける力 (常に学んでいこうとする力)
- (3) 自分や周囲の人々を肯定する力 (ありのままの自分をかけがえのない存在として認める力, 周囲の人々の良いところを見つけ, その存在を認める力)
- (4) 考え抜く力 (様々な課題に対して主体的に粘り強く考える力)
- (5) 協働する力 (他者を尊重しながら協働して物事に取り組む力)
- (6) 社会で通用する実践力 (流通ビジネスに関する基礎・基本や技術を確実に身に付け, 将来, 地域や社会における様々なビジネス活動に活用することのできる力)

2 カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)

- (1) 基礎学力の着実な定着を目指し, 各科目においてきめ細やかな指導を行います。
- (2) 販売の知識やコミュニケーション技術など流通ビジネスに関する専門的な学びを基礎から発展まで十分に深めることができるような科目を設定, 配置するとともに, 主体的な学びにつながるような授業を展開します。
- (3) 地域や社会貢献の実現に向けた, 多様な希望進路へ対応できる教科・科目を設定します。
- (4) 他分野の科目が履修できるよう, 総合選択科目を設定します。
- (5) 総合的な探究の時間を柱とした学科間での連携や地域との協働を通じて, 地域の新たな価値の創造につながる, 開かれた教育課程の実現を目指します。
- (6) 各科目及び各種教育活動において地域の教育資源等を積極的に活用します。

3 アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)

- (1) 専門分野における教育に強い興味と関心を持ち, 意欲的に学習に取り組む生徒
- (2) 販売に関する知識やコミュニケーション技術など流通ビジネスに関する学習に意義と価値を見だし, 将来各専門分野で地域や社会に貢献しようとする意欲のある生徒
- (3) 仲間と協働して新しい学校づくりに主体的に取り組む意欲のある生徒
- (4) 基本的な生活習慣が身に付いており, 本校における様々な活動に積極的に取り組む生徒
- (5) 中学校における学習, 部活動, 生徒会活動, 校外活動などに積極的に取り組み努力してきた生徒

宮城県大河原産業高等学校 [全日制課程 (総合ビジネス科 (情報ビジネス科))]

★ スクール・ミッション (社会的役割等)

宮城県大河原産業高等学校は、「自立貢献」を校訓とし、社会の様々な変化に適切に対応する柔軟性と、他者を敬愛し、他者との協働を通して新たな価値を生み出す創造性を育みます。また、地域や他学科との連携・協働による取組や実習、フィールドワークを中心とした実践的な取組を通して、地域の良さを理解し、地域社会を支え地域に貢献する有為な人材を育成する学校を目指します。

★ スクール・ポリシー (三つの方針)

1 グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)

- (1) 基礎学力 (社会人として必要とされる基礎的な学力)
- (2) 学び続ける力 (常に学んでいこうとする力)
- (3) 自分や周囲の人々を肯定する力 (ありのままの自分をかけがえのない存在として認める力, 周囲の人々の良いところを見つけ, その存在を認める力)
- (4) 考え抜く力 (様々な課題に対して主体的に粘り強く考える力)
- (5) 協働する力 (他者を尊重しながら協働して物事に取り組む力)
- (6) 社会で通用する実践力 (情報ビジネスに関する基礎・基本や技術を確実に身に付け, 将来, 地域や社会においてコンピュータを合理的に活用することのできる力)

2 カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)

- (1) 基礎学力の着実な定着を目指し, 各科目においてきめ細やかな指導を行います。
- (2) ネットワークやプログラミング, 情報システムなど情報ビジネスに関する専門的な学びを基礎から発展まで十分に深めることができるような科目を設定, 配置するとともに, 主体的な学びにつながるような授業を展開します。
- (3) 地域や社会貢献の実現に向けた, 多様な希望進路へ対応できる教科・科目を設定します。
- (4) 他分野の科目が履修できるよう, 総合選択科目を設定します。
- (5) 総合的な探究の時間を柱とした学科間での連携や地域との協働を通じて, 地域の新たな価値の創造につながる, 開かれた教育課程の実現を目指します。
- (6) 各科目及び各種教育活動において地域の教育資源等を積極的に活用します。

3 アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)

- (1) 専門分野における教育に強い興味と関心を持ち, 意欲的に学習に取り組む生徒
- (2) ネットワークやプログラミング, 情報システムなど情報ビジネスに関する学習に意義と価値を見だし, 将来各専門分野で地域や社会に貢献しようとする意欲のある生徒
- (3) 仲間と協働して新しい学校づくりに主体的に取り組む意欲のある生徒
- (4) 基本的な生活習慣が身に付いており, 本校における様々な活動に積極的に取り組む生徒
- (5) 中学校における学習, 部活動, 生徒会活動, 校外活動などに積極的に取り組み努力してきた生徒

宮城県大河原産業高等学校 [全日制課程 (総合ビジネス科 (会計ビジネス科))]

★ スクール・ミッション (社会的役割等)

宮城県大河原産業高等学校は、「自立貢献」を校訓とし、社会の様々な変化に適切に対応する柔軟性と、他者を敬愛し、他者との協働を通して新たな価値を生み出す創造性を育みます。また、地域や他学科との連携・協働による取組や実習、フィールドワークを中心とした実践的な取組を通して、地域の良さを理解し、地域社会を支え地域に貢献する有為な人材を育成する学校を目指します。

★ スクール・ポリシー (三つの方針)

1 グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)

- (1) 基礎学力 (社会人として必要とされる基礎的な学力)
- (2) 学び続ける力 (常に学んでいこうとする力)
- (3) 自分や周囲の人々を肯定する力 (ありのままの自分をかけがえのない存在として認める力, 周囲の人々の良いところを見つけ, その存在を認める力)
- (4) 考え抜く力 (様々な課題に対して主体的に粘り強く考える力)
- (5) 協働する力 (他者を尊重しながら協働して物事に取り組む力)
- (6) 社会で通用する実践力 (会計ビジネスに関する基礎・基本や技術を確実に身に付け, 将来, 地域や社会において経理や事務職として活躍することのできる力)

2 カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)

- (1) 基礎学力の着実な定着を目指し, 各科目においてきめ細やかな指導を行います。
- (2) 企業における会計処理や経営分析など, 会計ビジネスに関する専門的な学びを基礎から発展まで十分に深めることができるような科目を設定, 配置するとともに, 主体的な学びにつながるような授業を展開します。
- (3) 地域や社会貢献の実現に向けた, 多様な希望進路へ対応できる教科・科目を設定します。
- (4) 他分野の科目が履修できるよう, 総合選択科目を設定します。
- (5) 総合的な探究の時間を柱とした学科間での連携や地域との協働を通じて, 地域の新たな価値の創造につながる, 開かれた教育課程の実現を目指します。
- (6) 各科目及び各種教育活動において地域の教育資源等を積極的に活用します。

3 アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)

- (1) 専門分野における教育に強い興味と関心を持ち, 意欲的に学習に取り組む生徒
- (2) 企業における会計処理や経営分析など, 会計ビジネスに関する学習に意義と価値を見だし, 将来各専門分野で地域や社会に貢献しようとする意欲のある生徒
- (3) 仲間と協働して新しい学校づくりに主体的に取り組む意欲のある生徒
- (4) 基本的な生活習慣が身に付いており, 本校における様々な活動に積極的に取り組む生徒
- (5) 中学校における学習, 部活動, 生徒会活動, 校外活動などに積極的に取り組み努力してきた生徒

学校名	宮城県大河原産業高等学校	課程	全日制
学科 (コース・部)	総合ビジネス科	募集定員	120人

第一次募集（選抜方法等）	選抜順序	共通選抜 → 特色選抜	
	第2志望とすることができる学科・コース	農業科学科、企画デザイン科	
	共通選抜		
	募集人数	72人（募集定員の 60 %）	
	学力検査:調査書	5 : 5	
	学力検査点（500点満点）と調査書点（195点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は5 : 5とする。		
	特色選抜		
	募集人数	48人（募集定員の 40 %）	
	配点	1 調査書 390点 国語、数学、社会、英語、理科 : 全学年の評定を2.0倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を4.0倍にする	合計
		2 学力検査 500点 国語、数学、社会、英語、理科 : 得点を1.0倍にする	890点
選抜方法	<ul style="list-style-type: none"> 審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する48人の120%の範囲に含まれる者（57人）を対象として行う。 学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。 		
面接・実技・作文のうち実施するもの	なし		

社会人特別選抜	無
----------------	---

第二次募集（選抜方法等）	配点	1 調査書 225点 国語、数学、英語 : 全学年の評定を1.0倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を2.0倍にする	合計
		2 学力検査 300点 国語、数学、英語 : 各教科100点満点	525点
	選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	